第３号様式（第４条、第20条関係）（付表４）（用紙　日本産業規格Ａ４縦長型）

窒素酸化物の排出量明細書（ボイラーに限る。）

１　ボイラー（固体燃料を燃焼させるものを除く。）に係る窒素酸化物の排出量の許容限度等

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ボイラーの番号及び記号 | ①  窒素酸化物の排  出量の許容限度  Ｑi (Ｎｍ３／ｈ)  ②  106  [　　×③] | ②  係数  Ｃi | ③  定格能力運転時の乾き排出ガス量  (Ｏ２０％換算)  Ｖ(Ｎｍ３／ｈ)  21-④  21  [ ×⑤] | ④  定格能力運転時の乾き排出ガス中の  酸素濃度  Ｏi (％) | ⑤  定格能力運転時の  乾き排出ガス量  Ｖi（Ｎｍ３／ｈ） |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

２　ボイラー（固体燃料を燃焼させるものを除く。）別の窒素酸化物の排出量等

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ボイラーの番号及び記号 | ⑥  窒素酸化物の排出量  Ｑ(Ｎｍ３／ｈ)  ⑦  106  [　　②106×③] | ⑦  窒素酸化物の排出濃度  Ｃ(ppm)  21  21-⑨  [　　　 2121－⑨×⑧] | ⑧  乾き排出ガス中の窒素酸化物濃度  Ｃs(ppm) | ⑨  乾き排出ガス中の  酸素濃度  Ｏs (％) |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

備考　１　「Ｑi」、「Ｃi」、「Ｖ」、「Ｏi」、「Ｖi」、「Ｑ」、「Ｃ」、「Ｃs」及び「Ｏs」とは、

別表第３の２に定めるＱi、Ｃi、Ｖ、Ｏi、Ｖi、Ｑ、Ｃ、Ｃs及びＯsをいいます。

２　定格能力運転時の乾き排出ガス量、窒素酸化物の排出濃度及び乾き排出ガス中の酸素濃度の根拠を明らかにする書類を添付してください。